

## ◎しあわせの村30周年記念事業

### いきもの展示開催される

しあわせの村一帯の生物多様性を保全し、より多様な生き物が住める環境づくりをめざして、KSC学生、卒業生、講師等からなる「しあわせの村いきもの会議」というグループが調査活動、観察会を約3年前から実施しています。

グループは、花実の森、野鳥と自然観察会、愛Deer∞、川づくり研究会、等多くの会員がかかわっています。

近年はアカミミガメやオオキンケイギクなどの外来動植物の影響、シカ、イノシシの被害も心配されています。

今回、その実態を知っていただくために、「しあわせの村いきもの会議」主催による、いきもの標本展示（7/30～8/2）が、しあわせの村研修館で、同、廊下でパネル展示（7/20～8/31）が行われました。

主に標本（昆虫・植物）水そう（魚・アカミミガメ等）昆虫生体（カブトムシ等）動物のはく製（シカ・アライグマ等）野鳥の巣や巣箱などが展示されました。



## 【西区会】

### ◎西区会活動報告

吉田 謙（健福20期）

西区会ボランティア活動場所の一つ、西区神出町にある神戸市立神出自然教育園（※）にお邪魔しました。

ここではカレッジの園芸クラス中心に活動していて、この日は西区のメンバーが葉ボタンの移植を行っていました。葉ボタンは正月ごろよくみられますが、この季節（9月）はまだまだ小さくて葉が4、5枚高さ15cmほど。もう少し大きくなると学校に送られ冬休み前後には校庭のあちこちで大きく広がった葉ボタンにお目にかかれることでしょう。

※：神戸市内の幼稚園、小学校、中学校、高校、養護学校の児童、生徒が自然と農業を中心に実地体験学習の教育場所です。



## 【北区会】

### ◎北区会の活動

芦田義和（生環15期）

北区会は、430名の会員と16名の運営委員で構成され、「情報・親睦・つながり（ボランティア活動）」の区会指針に沿って会員相互の友愛を深めています。月1回行う運営委員会では、本部からの情報を共有し、区会の活動を検討してその結果をメールや北区会ニュースを通して会員に配信しています。会員の親睦を図ろうと、毎年、グラウンドゴルフ、バスツアー、ウォーキングを行ってききましたが、昨年からの皆さんの趣味を通して親睦を深めようと、折り紙、絵手紙・はがき絵、写真、書道の4講座を立ち上げ毎月1回の例会を行っています。これらの会が更に広がっていくよう期待を寄せています。

つながり（ボランティア活動）につきましては、小中学校で学習支援、小学校通学路での見守り隊、福祉施設で介護活動などを行っていますが、支援者の高齢化が進み、より若い世代の支援を求めています。北区会のHPをご覧ください協力頂ければこの上ない喜びです。



## 【兵庫区会】

### ◎ 兵庫区会交流会、須磨離宮公園にて

小椋 宗二（食文21期）

会員の方の提案によって須磨離宮公園の花菖蒲を見に行きたいとのことで、梅雨明けの6月12日（水）に計画しました。

15名の参加予定でしたが、他の行事と重なり10名の参加となりました。花もちょうど見ごろで紫や白のあでやかな花に和気あいあい、ゆっくりと観賞することができました。昼食は園内のレストランにて歓談しながら、楽しい一日を楽しむことができました。

